

吐山地域学校規模適正化検討協議会ニュース 第11号

平成28年11月
教育政策課／吐山地域検討協議会

第11回吐山地区学校規模適正化検討協議会が10月31日に開催されました。

今回は、再編校の校名を10月14日の市教育委員会において、『都祁小学校と決定された』ことについて、市教委からの報告を中心に話し合われました。

校名は、再編の取組の中でも重要な事項であり、地域のみならず、保護者のみならずにもご意見を頂いて取り組んできたことであり、今回は、傍聴頂ける方はご出席頂くようご案内しての会合となりました。

校名には、吐山地区の意見は結果として取り入れられませんでした。

スクールバスの運行案は保護者の意見も入れ、天理警察署にも照会を掛け、概ね固まりつつあり、スクールバスの試走を兼ねた交流学習会の計画も進められています。

各小学校4校の閉校式等の関係につきましては、4小学校区毎に準備が必要であり、吐山地区としては、小学校・後援会・PTA・自治連合会・適正化協議会（本会）の代表で計画して頂くことになりました。

1. 第3回代表者会議等報告〔市教委〕

(1) 校名・校章・校歌について

校名については、6月から3回にわたり代表者会議で協議いただき、その中で、4地域のなるべく多くの方々の意見を伺うため、協議会が中心となり聞き取りもしていただきました。出し合っていた校名案をもとに、第3回代表者会議（9月27日開催）におきまして、「都祁小学校」または「つげ小学校」という2案に絞られましたが、この2案のいずれにするかという判断につきましては、市教育委員会に一任するとの提案がなされ、了承されました。

また、校歌の歌詞と校章のデザインについては、4小学校の児童・保護者・地域の皆様方から案を10月末から1ヵ月程度の間で募集し、代表者会議にて選定することが了承されました。なお、校歌の作曲については、専門家へ委託することを決めて頂きました。

その後、臨時教育委員会が10月14日に行われ、校名については、各校区から出された案とその理由や、これまで代表者会議において話し合われた内容をもとに、慎重に協議・検討をいただきました。その結果、地域に根ざした歴史ある名称でもあることなど、総合的に勘案したうえで、統合再編する新しい学校の校名を「都祁小学校」とすることを、市教育委員会として命名されました。

(2) スクールバス運行（乗降地）修正の件

スクールバスの乗降地については、保護者の要望を取り入れつつ、安全性について警察署にも照会を掛けるなど検討を重ね、確定とまでは言えないが、ほぼ、固まりました。具体的内容は、学校と保護者の間で連携をとって頂いて詰めています。

(3) その他

・統合再編校での教育について

統合再編校で進めていく教育について、学校教育課と4校長が説明しました。

統合再編校では、集団生活の中で、様々な考え方に触れたり、人間関係が広がったりするような活動を組み込み、さらに伸びていこうとする力を育ててまいります。また、現在も地域の方々から熱心に学校の教育活動への支援をいただいておりますが、今後も、地域とともにある学校づくりをめざしてまいります。

統合再編校での学校生活については、現在、“登下校について”や“服装”、“学校のきまり”などを記載したガイドブックを作成しています。来年1～2月に配布させていただく予定です。

・地域連携事業再編検討の件

地域で決める学校予算事業及び放課後子ども教室事業について地域教育協議会・小学校運営委員会、放課後子ども教室コーディネーターらで検討頂いています。

2. 再編校の校章・校歌の募集について

校章・校歌について11月22日までに各小学校に提出をお願いします。

[応募用紙等既に保護者および地域のみなさんに10月末配布させて頂いており詳細省略]

【質疑等】 [○ 委員 △ 事務局 ⇒ 市教委]

◇校名について

- 再編であり、新しい校名を考えるということではなかったのか。同じ都祁とはどういうことだ。校舎にしても、中学校周辺も含めて、建替えも含めての検討でなかったのか。検討の仕方が良く分からない。
- △ 吐山地区も六郷地区も最終的にはひらかなで“つげ”でも新校名にすべきと主張、並松・都祁地区は“都祁”でよいと主張し、意見がわかれた状況で、代表者会議では堂々巡りになるので、教育委員会に預けることにした。立地点の話は、検討協議会に投げかけておきながら、市教委が昨年6月、一方的に都祁小増改築とすることを表明し、市議会も通ってしまった。
- 校名決定の教育委員会報告に不信感が残る。理由が偏っている。都祁という呼称が地域に根ざした歴史あるものと言われたが、代表者会議で色々出された意見が正確に教育委員に報告されたのか。
- ⇒ 正確に報告して、議論頂いた。
- “都祁”とされた理由に合理性がない。義務教育校とか、小中一貫について市教委事務局は課題として応えず、6・3制で押し切った。教育制度は将来課題とするならば、そのとき考える課題だ。都祁地区の方から仮校舎引越で忙しいなど、統合に伴い負担が大きいとの声が聞こえてくる。
- 都祁小校区の児童には、他校から都祁小に来るという認識が強いのではないか。自分の子どももなぜ都祁へ行かなければならないのか。“夢を見て泣いている”と言っている。子どものケアもいる。
- ⇒ 教育委員長からも『同じ校名を用いると吸収合併されるという不安は分からぬでもないが、4校とも閉校して再編する新しい学校を創るという事実を関係者は良く踏まえて取り組んで欲しい。』とされている。PTAにも都祁小に統合ではなく、4校を統合再編して新しい学校を創ることを踏まえるよう、市教委として説明している。
- △ 地区住民・保護者・児童に浸透していなければ、『言っている』では済まない話であり、市教委としてもしっかりと対応願いたい。

◇スクールバス乗降場所の修正案について

- 冬場の凍結時、中学生の自転車通学の時間帯等安全対策にまだ不安を感じている。
- △ 通学に関して、交流学习を兼ねてバスの試走も計画されているようだが、警察署の見解等も含め安全対策は入念に願います。
- ⇒ 天理警察署にも乗降場所として問題ないか聞いている。

◇これからの教育について

- 代表者会議で示された内容は、統合再編に関係なく、これからの教育に必要とされていることにすぎない。再編しても少人数校であり、その弱みを補い、強みにしていくために、ひとつにまとまったところで、どんな力をつける教育を行おうとするのか。それを示して欲しい。今まで、口を酸っぱくして申し上げてきたことに対して、こんな内容では困る。本日の宿題と承知頂きたい。
- 地域のことが分かる地域出身の先生を戻して欲しい。新6年生は2クラスになるよう加配して欲しい。

3. 閉校式関係について

代表者会議において、4校合同の閉校記念式典開催予定の話が出されたが、この件は白紙になり、各小学校4校において閉校式を行う計画を各校区で進めることになっている。

この検討協議会だけの事案でもないので、閉校式準備の働きかけがあれば、検討協議会から代表者（会長）に願います。

- * 10月18日の吐山小学校運営委員会において、小学校から『小学校4校が統合再編になる場合は、吐山小学校閉校式を実施したい。』として準備についての相談があったが、閉校式となると140年余の重みのあるものであり、運営委員会としてどうこうでなく、小学校長中心に、地域・保護者・後援会、検討協議会の代表の方にメンバーになって貰ったテーブルで準備して頂くのがよいのではないかといいことになっている。
- * 本日、同様のことでお諮りするのには、先の代表者会議において、市教委から4校合同の閉校式を3月11日に交流センターで予定しているという話がだされたが、本来、閉校式は4校区でそれぞれに行うものであり、吐山でも吐山小学校の閉校式の準備が必要で、準備のテーブルを作って頂くことのご理解を得ておきたい。

以上